



平成14年4月17日

このえ町

議会だより

第57号

発行/九重町議会

T679-4803
大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1

☎ 09737-6-3814

編集/議会広報編集委員会

印刷/尾花印刷株式会社



教育民生常任委員会現地調査（梅の木地区集会所陳情力所）

3月定例会

●第1回定例会・各種会計予算

P.2

●臨時議会・議案審議

P.3

●陳情・発議・予算審議

P.4

●一般質問

7名が登壇 P.6~12

●こんな町にしてほしい

南山田中学校1年 飯田 祐一さん P.13

●わたしのひとこと

飯田 湯坪 矢野 正美さん P.14

第一回定例会

本定例会は3月6日から22日まで

17日間開催されました。

議案30件、発議2件、陳情2件を

慎重に審議し可決しました



定住促進団地（都原地区）

各種会計予算を可決

一般会計予算

66億1,100万円

特別会計

国民健康保険

11億5,691万円

水道

2億8,560万円

同和住宅資金貸付事業

297万円

飯田高原診療所

8,502万円

老人保健

16億5,600万円

介護保険

10億1,543万円

議会の動き

28日	〃	〃	26日	20日	19日	17日	〃	14日	〃	〃	5日	2月	〃	〃	24日	9日	8日	1月
議会運営委員会	県へ要望	猪牟田ダム関連事業	三町連絡協議会	市町村合併対策特別委員会	県議長会定期総会	九州地方整備局へ要望	猪牟田ダム関連事業	模範町議会	ジュニアデザイン会議	奈良県新庄町議会視察来庁（議会運営）	連絡協議会陳情	久大地区活性化議長委員会	猪牟田ダム調査特別委員会	市町村合併対策特別委員会	鳴子川周辺調査特別委員会	久大地区議長連絡協議会	久大地区議長連絡協議会	久大地区議長連絡協議会

固定資産 評価審査委員



財津多喜彌氏

※固定資産評価審査委員会委員の松崎良美氏が平成14年3月7日で任期満了となったため、財津多喜彌氏の選任に満場一致で同意しました。

教育委員会委員



佐藤住子氏

※教育委員会委員の湯浅弘氏の任期が平成14年3月25日であるため、後任に佐藤住子氏を任命することに満場一致で同意しました。

第1回臨時議会

1月24日

現在、議論されている、市町村合併の調査、研究をするため、特別委員会の設置を決めた。

市町村合併対策特別委員会

委員長 河野 範成
副委員長 岐部 午二
委員 菅原 美好
小川 克巳
梅木 征治
大石 光則
竹尾 允文
佐藤 勝憲
穴井 太輔
井上 智昭
安部 武己

議案審議

※職員の見学休業等に関する条例の一部改正は、

育児休業、介護休業等に関する法律の改正により、育児を行う職員の仕事と家庭の両立を容易にするための一部改正で適当である。

※職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正は、

育児、介護等の法律改正に伴う、条例整備で適当である。

※町民が考える九重町づくり会議案の一部改正は、

2年間の実績を踏まえ、

専門的知識を有する委員の委嘱により、内容の充実を図るもので適当である。

※九重グリーンパークの設置及び管理に関する条例の一部改正は、

九重町コミュニティセンターの入浴料の改正及び町営泉水キャンプ場の施設等の使用料の改正で、類似施設への配慮と実態に即したもので適当である。

※簡易水道布設事業に関する補助条例の一部改正は、

猪平田ダム関連地域振興計画に基づく、簡易水道布設事業の実施に当たって、その補助率を定めるもので適当である。

※土地の取得については、

町道宝泉寺栗原線道路用地として、土地を取得するもので適当である。

※九重町介護保険条例の一部改正は、

介護保険制度実施にあたって介護保険法や、条例の施行を円滑に行うための規則の制定が必要で、そのた

3月

6日	本会議（開会）
7日	本会議（予算審議）
8日	本会議（予算審議）
11日	総務財政常任委員会
12日	建設産業常任委員会
14日	教育民生常任委員会
18日	本会議（補正審議）
20日	本会議（一般質問）
22日	議員研修会
22日	本会議（閉会）
27日	議会運営委員会
27日	議会広報特別委員会
28日	本会議（閉会）
28日	議会運営委員会
28日	議会広報委員会
28日	佐世保市議会来庁



めの条例の整備で適当である。

※飯田高原診療所施設整備基金条例の制定については、

飯田高原診療所における医療機器等の整備を図るための条例の制定で適当である。

陳情

後河内区長 武石哲彦氏
からの梅ノ木集会所の新設
については、

陳情の主旨については、
理解できるので早い機会に
要望に応えるべく本陳情に
ついては採択することで意
見の一致をみました。

寺田区長、太田隆夫氏か
らの町道下双石・小久保線
の改修については、

調査検討を要するため、
継続審査とすることで意見
の一致をみました。

発議

有害鳥獣対策に関する意
見書

1 有害鳥獣の被害を減少
させるため、狩猟期間の延
長及び鳥獣保護区、休猟区
の区域設定は被害の実態に
即した見直しを早急に行う
こと。

2 今後の鳥獣保護事業計
面の策定に当たっては、こ
れまでの農林産物被害を勘
案し、関係者の声を十分反
映させること。

3 電気柵、防護柵、箱ワ
ナ等の被害防止策に対する
補助事業は、地域の実態に
合わせた十分な財政措置を
行うこと。



BSEで牛肉の消費拡大が心配される

牛海綿状脳症（BSE）
被害の早期解決と対策等に
関する意見書

1 国産牛の消費回復対策
① 牛海綿状脳症の患者牛
発生原因の早期究明と風評
被害の防止、消費者に対す
る正しい知識の啓発や情報
提供などの対策を進め、信
頼回復を図ること。

② 被害や影響を受けた飲
食業、販売店など関連業種
に対し、無利子の長期融資
や税の減免措置などの対策
を講じること。

2 農家経営安定対策
① 国内牛肉、子牛価格の暴
落による所得補償策を講じ
ること、経営維持資金及び
利子補給並びに負債等の返
済についても、追加融資な
どの救済措置を講ずること。

② 大家畜経営維持資金の償
還期間が1年以内となつて
いるが、貸付対象となる肉
牛出荷は20ヵ月前後である
ことから、肥育期間を目途
に償還期間の延長を講ずる
こと。

③ 安定的な農家経営を存続
させるため、平成14年以降
の事業の継続と予算の確保
を図ること。

3 肉骨粉、老廃牛等の処
理対策

① 肉骨粉、危険部位、へい
死牛等の処理は、安全性が
保証できる製造、流通など、
国の責任において措置を講
じること。

② 肉骨粉適正処理緊急対策
の平成14年以降の事業の継
続と予算の確保を図ること。

③ 老廃牛の国による買い上
げ、保管、一時的な市場隔
離等に、早急に万全の対策
を講ずること。

予算審議

Q 県より労働者補助金、
898万円収入として上が
っているが

A 緊急雇用対策事業で、
臨時雇用するための補助金
Q 土地売却収入6200
万円を見込んでいるが

A 定住促進団地（郡原）、
13区画を払い下げる予定
Q 庁舎清掃外で、143
2万円委託するが

A 清掃委託等1100万
円その他エレベータ保守等
300万円があります。

Q 鴨子川溪谷及び周辺整
備費で8000万円委託料
として計上されているが

A つり橋周辺の、地質調
査、測量、実施設計など
Q 地域情報推進事業費で
1億円の工事請負費は

A IT基本法に基づいて
町内の公共施設をネットワ
ークで結ぶ事業
Q 宝泉寺栗原線改良事業
で2億745万円工事請負
費が上がっているが
A 3工区にわけて事業を
するが、今回は1工区80
0mの工事費
Q 九重町一村一文化推進
事業で631万円補助金と
して出すが
A 星生山の星太郎のミュ
ージカル公演をする、実行
委員会へ、県より1/2補助
Q 通距離通学費で979
万円補助するが
A 小学生のバス定期券と
通学用品購入、中学生の通
学用品購入で補助する
Q 園芸振興総合（野菜対
策）事業で1477万円補
助するが
A トマトのハウスと白ネ
ギの機械導入を補助する
Q 家畜指導員補助金10
86万円計上されているが
A 共済組合へ出向してい
る獣医師1名分の人件費。

猪牟田ダム

調査特別委員会

○第2回委員会

(平成13年3月19日)

〔執行部から〕

平成12年第4回九重町議会定例会において、猪牟田ダム建設中止に伴う地域振興に関する事項の調査・検討を目的に「猪牟田ダム調査特別委員会」を設置しました。

以降、今日まで8回の委員会の開催と1回の視察研修を行い、慎重に審査を重ねてきました。その経過について報告します。

その内容の主要な部分のみお知らせします。

○第1回委員会

(平成13年1月22日)

〔執行部から〕

猪牟田ダムの主要経過並びに中止に至った経緯の説明と地域振興計画策定委員会・ワーキングチーム設置の報告を受ける。

課題事項について、今後執行部と協力を図りながら進めていくことを確認する。

○第3回委員会

(平成13年5月14日)

〔執行部から〕

水没地権者協議会並びに周辺整備対策協議会の「地域振興要望」についての報告と、その課題点について説明を受ける。

要望項目が膨大であるために、メニューの整理と財源が課題になることから、地元調整を慎重に行うよう要請する。

○第4回委員会

(平成13年7月10日)

〔執行部から〕

具体的な地域振興策(案)を提示され説明を受ける。有効な補助事業、優良債等を活用することとし、国・県に財源措置を要望していくことを確認する。

○第5回委員会

(平成13年9月11日)

〔執行部から〕

地域振興策(案)の地元協議結果について報告を受ける。



水路改修予定地

ける。

地元より負担金の減免要望があることから、財源対策を見極める必要があるが、減免の検討を行うよう執行部に要請する。また、本町と同様な取り組みをしている茨城県緒川村・美和村の視察研修を決定する。

○第6回委員会

(平成13年10月30日)

〔執行部から〕

農業関係事業の地元負担金の減免及び水道事業補助率引き上げ要望に関する協議結果の報告を受ける。

○第7回委員会

(平成12年12月12日)

〔執行部から〕

「猪牟田ダム関連地域振興計画」を提示され説明を受ける。

き上げについては、20%以上乗せて50%補助とする執行部案を了承する。

○第8回委員会

(平成14年2月5日)

〔執行部から〕

振興計画策定状況の報告を受ける。

地元負担金については、水没予定地と周辺地区との差はあつて然るべきと考え、減免の方針を了承する。また、視察研修のまとめを行う。

○第9回委員会

(平成14年2月5日)

〔執行部から〕

「猪牟田ダム関連地域振興計画」を提示され説明を受ける。

国より交付される行政需用費は「ふるさと創生基金」に積み立て、地域振興に要する一般財源に充当することとし、地元負担金は通常10%負担であるものを水没予定地内は免除し、周辺地区は3%に軽減するとしている計画案を了承する。

○第10回委員会

(平成14年2月5日)

〔執行部から〕

地元協議結果の報告と「実施要領」の説明を受ける。

○第11回委員会

(平成14年2月5日)

〔執行部から〕

「地域振興計画」及び「実施要領」に基づいて、年次計画で事業実施を図ることを了承する。



改良が期待される道路

以上が審議経過の概要であります。猪牟田ダム計画は、これまで30数年もの長い間、地域住民を離れ続け、苦悩を与えた計画でありました。

「猪牟田ダム関連地域振興計画」は、遅れている道路・河川・農用地などの地域整備を進め、地域住民の生活支援を行うものであります。その実現に向けて、議会・執行部の総力を結集して推進をしていかなければならないと考えます。

私の一般質問

3月18日に7名の議員が質問しました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

井上智昭



どうなっている

交付税削減

問 交付税が大きく減額されているが、一定の行政水準を確保出来るように定められている。算定方法はどのようにされたのか。現時点での交付税の削減は、段階補正の縮小を十万人未満の自治体にすべて広げ、町村合併へと連動するものではないか。

〈さらに厳しく〉

答 基準財政需要額で人口や面積・道路延長・学校数・診療所などが加味されており交付税に算入しているということでは何と何とということがわからないのが実情ですが算入率や充当率あるいは財政需要の見直しをしていこうという国の方針は

さらに厳しくなると思いますが。

ペイオフ 公金の

管理・保全是

問 ペイオフ解禁とは金融機関が破綻した際、預金は全額保証しないという措置だ。預金については元本と利息を超える部分には保護策はなく、町は自己責任による対応が必要となるが、町の場合現状のままで実施されれば、予算の財源である税や地方交付税などの歳入現金、45億円の各種基金制度融資の預託金などが対象となるが、公金の管理・保全について対策はとられているのか。

〈金融機関の

経営状況把握〉

答 解禁後みずからの公金・預金の管理運用に関して自己責任が発生します。対策としては金融機関の経営状況の把握などに全力をあげたいと思います。当面は来年3月まで全額保護される普通預金などで対応をはかりたいと思っています。

どうする

同和対策事業

問 国の特別措置法が終了する2002年3月以降は同和事業は、原則として一般施策に移行すべきだ。地区の住環境や生活実態など、改善され、又封建的身分差別は、実態として消滅している。

〈一般事業として対応〉

答 昭和48年より平成12年度まで総事業費38億円（内国庫補助金20億、県費2億、町費5億円）同和差別というものがあちこちであるように、完全に消えたわけでもない。同和行政、人権行政も同時に進めるべきだと思います。



大分銀行このえ支店

菅原 美好



仕事の 分かち合い

問 全国の自治体の半数以上が、賃金カットや時間外手当をカットした原資で、新規高卒者ら雇用するワークシェアリングの導入を予定している。本町も約3600万の時間外手当を予算化している。仕事の分かち合いを検討し、多くの者を、臨時職員として採用を。

（節減し検討する）

答 臨時職員は町長部局で39名、教育委員会部局で19名、今雇っており、課長会議でも、時間外の節減の方向で常に考えており、十分検討を加え、取り組んでいきたい。

ゆとり教育修正か

問 授業時間3割カットの新学習指導要領、目玉の総合学習、完全週5日制、学力の一層の低下が心配だ。文部科学省も土曜補習OKや習熟度別指導など「ゆとり教育」から学力重視へ修正してきた。総合学習にALT（英語指導助手）を派遣し授業しては、又、土曜日休日のうけ皿づくりは充分か。

答 小学校や幼稚園から要請があれば、英語教育にALTを派遣したい。うけ皿づくりは、地区健全育成協議会を中心に区長会、老人会、婦人会の協力を得ながら、地区で子どもを中心とした活動行事に取り組む方向で協議している。

（協力を得て取り組む）



3月4日に行われた南山田中学校卒業式

事前協議とは

どんなことか

問 県の市町村教育委員会 同研修会で県教育長から県教組との事前協議の廃止について説明し、理解を求めたと聞くと、事前協議とはどんなことか、県教委の指導にそって行くのか。

（県教委の趣旨に沿う）

答 県教委がやる事業について、事前に了解を得てから行っていたのをやめるということで、県教委の趣旨に沿うよう対応する。



東飯田小学校の校庭で元気に遊ぶ子どもたち





公金の管理は 万全を期せ

問 ペイオフ解禁が4月1日より実施され預金先が破綻すれば払戻し保証額が一千万円とその利子分となると町の公金の保金について管理と運用基準を定めるために早急に公金管理運用委

員会を立ち上げ、預け先金融機関の経営情報の開示を求め万全を期すべきではないか。

〈安全確保・努力する〉

答 4月1日よりペイオフ解禁、絶対安全ということはどこを指しても言えませんが、

15年度いっぱいには普通預金をも考えながら、政府で守れるような金融機関を選んだり、国債のことを考えたりで対応したい。又専門家も入れた公金の運用審議会を早期に立ち上げ、公金の安全確保に努力して行きたい。



玖珠郡信用組合南山田出張所

ヘリの墜落事故 再発防止

再発防止

問 去る3月7日夜突如として起きた自衛隊ヘリ墜落

事故が発生し乗員4名が死亡した。幸いにも現場が山中であったが被害が最小限で済んだが人家や温泉街が近く極めて危険である。ヘリの夜間訓練(暗視訓練)は演習と同じであり地元に対して飛行ルートや訓練内容の事前説明があつて然るべきだと考えるがどうか、更に町民の不安解消のため住家上空飛行や深夜の騒音など観光立町には迷惑千萬



自衛隊ヘリコプター墜落地点

と思うが、これからのことも含めどう対処するか。

〈安全確保強く国へ要望〉

答 夜間そう言う訓練をやっていた事も知らなかった。

四者協(日出生台演習場関係3町と県)で一緒になつて再発防止、町民の安全確保のための施策等のお願いをしている。万年山周辺が高度150m以下の低空飛行訓練の可能地域になっているという。観光地や民家の上を低空飛行地域から外していただくよう要望していく。

政策選択型の 改革とは なにか

問 行政スリム化について努力されている事に一定の評価は致しますが、新たに示されている第三次総合計画に掲げる施策を具現化するために「これまでの改革に加え」政策選択型の改革に取り組むと記述があるが具体的にどんな事か。

〈効果的な事業推進〉

答 地方が自分で効果的な事業を選択し、効率的に行っていくのが大きなねらいです。従来なら補助金がつけばすべて、事業実施するという事で無く、今後は効果のあるものを選択し、自主確立、自助努力を尊重し効率的な事業を推進して行くという考えです。



竹尾 允文



町田川の自然は 大丈夫か

問 町田川流域の自然環境について、九重町行政として、河川の浄化に対し家庭排水、業務用排水などの浄化対策や指導、あるいは自

然木の植栽による良質な水量の確保をどのように考えているのか今後の政策を聞きたい。

〈水質保全調査 などで万全〉

答 町田川上流では、地域開発が盛んに行われて町としても環境条例等の制定をして河川等の保全に努めています。又生ごみ、合併処理浄化槽の設置等を進めながら、河川の水質汚濁、景観等保全・管理に努めています。



合成洗剤などの汚染が心配される町田川

ホテルが自然の バロメーター

問 淮園地区でのホテルについて、最近ホテル、旅館に加え銭湯が次々と出来ています。浴槽の清掃に強い洗剤を使えばあまりこすらないでもきれいになるそう

ですが、この洗剤は川の魚貝類やホテルの幼虫に大変危険だそうです。大事にならない内に常識ある洗剤を使っていたらどうか、自然にやさしい洗剤をというキャッチフレーズで立て看板を作ったらどうか。

〈ホテルの住める 環境作り〉

答 地域住民に広報等を通じて、又一軒一軒にチラシを入れ河川をよごさないように啓発運動に努めています。



ホテルなどが住めるような清流づくりを

大石 光則



町営住宅

早期着工へ

問 町営住宅マスタープランに沿って、事業が進められているが、飯田地区に於いては、平成16年より17年



去就が心配される川湊団地

度にかけて、南山田地区に於いては、16年度より計画されているが、計画通りに行くのか。

飯田、南山田地区に於いても、I・Uターン組、若者定住のため、早期計画通りの着工を望む。

〈マスタープランに沿って〉

沿って

答 現在新設を含め16団地、198戸となっています。

今後の課題として町営住宅の建設は当然マスタープランに沿って進めていきます。

どうなっている ホッケー会場

問 二巡目団地に向けて、玖珠九重町で、ホッケー会場一面づつ指定されているが、玖珠町に、二面お願いしている。協議の方は進んでいるか。町単独の考えをもっていった方が良いのではないか。

〈玖珠町と充分協議し 実施する〉

答 現在玖珠町の方で、本設計に向けた手続きを現在進めている中で本設計が終わりましたら、建設方法並びに負担割合等協議を進めていきたい。

町の創意工夫を

問 緊急地域雇用創出特別基金事業は、町独自による雇用の受け皿づくりが大事ではないか。

〈対応している〉

答 町としても、直接行っている公園の樹木の管理、道路等の管理委託等出来る限り民間に委託等して雇用確保に務めている。



小国町林間広場の人工芝グラウンドで練習する九重ジュニアホッケーチーム

交付税削減に伴う今後の財政運営



小川 克巳

問 町財政の主要な財源となる地方交付税が削減され町財政は一段と厳しさを増している。加えて小規模市町村に手厚く配分されてきた段階補正も縮小されダブルパンチを食らったかっこうだが、市町村合併の促進を狙う政府の「ムチ」はさらに強くなる。しわよせは教育費や福祉費になるのではないかと。又、今後に予定されている大型事業の鳴子川溪谷開発や宝泉寺栗原線などを控え財政に不安はないか。

〈将来不安ある〉

答 交付税の減額は本町の財政に大きく影響を与えることは確かですが、今後の大型事業に対して経常経費などの削減に向けて十分努力し、健全財政を目指して事業実施をしなければならぬと考えています。さらにローリングや行政改革を進めて対応すべきと思っています。現状では何をどうするといふのは考えておりませんが、その時代に重要なものは何かを的確に把握していきたいので、明確な答弁ができないこととお許しただきたい。



九重町役場の会計窓口

幼保一体化に

向けた課題

問 新年度より幼稚園の2年制や延長保育が実施されるが現時点の入園申し込み状況を見ると4才児で町内91名中約50名が保育園で約30名が幼稚園と新制度導入としては町民の理解を得られていない結果が出たことを踏まえて早急に制度の見直し等を検討する必要がある。加えて新制度では財政負担を強いることになる。一貫した就学前教育を充実させるためにもさらなる検討をすべきだ。

〈就学前教育の充実〉

答 募集の結果は指摘されるようなことが考えられるがスタートさせながら施設の供用化や職員の相互乗り入れを検討し、手直しをすべきところはしていきたいと思っています。



スポーツ少年団の育成強化

問 新学期から完全学校週5日制となる。地域や家庭の受け皿が必要になるが生きる力を育むためにもスポーツ少年団の活動を促進すべきだ。現行助成に加えてさらに育成強化をはかり青少年の健全育成に努めるために補助金の増額や県大会以上の参加にマイクロバス等の支援策は考えられないか。



木の葉保育園

〈実態に即して〉

答 少年を対象とするスポーツは少年野球などがあるが、地元の有志の皆さんの指導で技術面や精神面で大きく成長しており豊かな人間性を育むうえでも必要と考えますので実態をさらに検討してできるだけ意にそうように考えていきたい。マイクロバスについては、使用規程を検討しており規程に基づいて対応したい。



野球場にて練習する子どもたち



「倫理」町民の
声に耳を！

問 毎日の様に、国や地方の政治の場で働く者達の不

祥事が、テレビや新聞をにぎわせている。戒め・教訓として生かせ。町民に耳を傾け、襟をただした方が、良い事は、どんどん実行して行くそんな姿勢が「町民と行政の信頼関係」を更に深める事につながると思う

「倫理要領」

徹底し守る

答 国や地方で、政治不安、不審が国民に広がっている、毎日いろんな汚職、贈収賄が報道されています。

今政治の倫理確立が緊急な課題だと感じております。

町倫理要領で、町民の疑惑や不審を招くような行為は慎みましようという中で、倫理・モラルを徹底します。

議会全員協議会で政治倫理について協議



少量多品目・

検討したか

やる人の

熱意を期待

問 ブルーベリー3年間で15・5ha計画、一品目大量生産は、今までと同じ発想、少量多品目で多様な果樹・果物アケビ・サルナシ・ヤマボウシ・スグリ・ハスカップ・クロの実・ヤマブドウ等の推進、他町では、取り組みが無い、この様な観点からの検討はなされたのか。

答 15haそんなに大きい数字じゃない。ブルーベリーは果が果物かという議論もあり、加工もできる。花がきれい、実も摘め、秋は紅葉し総合して我町は適地。やる人の熱意と、町・普及センター・農協と一体となった支援で振興を始めたところです。



菅原のブルーベリー植栽予定地

臨時教員の

配置を必ず

問 野矢小と栗原分校に、複式学級解消の予算を計上しているが、4月からの配置は大丈夫か、必ず配置していただきたい。

小中学校の焼却炉及び灰の撤去はいつか、玖珠は完了している。早急に撤去し柏裁等したらどうか。

何としても

配置したい

答 町単費で「野矢小」と「栗原分校」に臨時教員を配置で、予算要求しており、何としてもという意気込みで当たっています。県に対しても特別配置を、お願いしています。

焼却炉等の撤去については、延び延びになつていましたが、3月いっぱいには撤去したいと考えています。



こんな町に してほしい

気軽に あいさつを

南山田中学校1年

飯田祐一さん



ぼくは、よく知らない人でも習慣であいさつすることが多いです。朝、学校に行く時やバス停で、「おはようございます。」と、声をかけます。すると、「あ、おはよう。」と、言い返してくれます。この時、相手もえがおで言っただけでくれるのでぼくは、とても気分がいいです。でも、こつちをむくだけで、あいさつを返さない人もいます。こんな時、ぼく



次代を担う子どもたちに気軽に声を

は、気分がしみます。それに、すこしくやしい気分にもなります。

ぼくは、人と人とのつながりは、あいさつから始まると思います。この九重町は、気軽にだれとでもあいさつができる町にしたいです。

視察研修に来庁

●2月14日、奈良県新庄町議会、議会運営委員会、8名が、議会運営や、町の概要などで意見交換した。

●3月28日、姉妹都市締結佐世保市議会の自由民主党、緑政クラブ、市政クラブ、会派12名が来庁し町長を囲んで懇談した。

議員研修

九州の517町村を対象に地域情報誌、「九州のムラ」の企画、編集、販売を担当、現在、グリーンツーリズム、エコミュージアムによる地域づくりの担当、コンサルティング及び情報発信などの支援業務を行っている。

九州各地区において、グリーンツーリズムの研究をして講演活動をしている。県下の先進地、安心院町や、蒲江町の事例を話し、本町における取り組みなどの話しを聞いた。

講師 九州観光研究所
養父信夫氏

小国町議会を視察して

去る3月19日に熊本県小国町議会の一一般質問が開催されたので、本町議会の新人6人が独自研修としてその模様を視察した。

小国町議会の一般質問は事前通告制ではなくて無通告で当日議員がひとり一回が30分限度で計3回行うことが出来るようになっていました。

8名の議員が地方交付税削減や各種補助金の投資効果、木材を取りまく課題、小国流ツーリズム、悠木の里づくり等々について質問していました。答弁も数字等は別としても、全体的にはスムーズに執行部答弁がされていたようで、九重町も時々は無通告の一般質問もいいのではと考えさせられた一日でもありました。



小国町議会一般質問

姉妹都市 (佐世保)交流

明治35年市制施行以来、100年目の節目を迎えた佐世保市、県民文化ホール「アルカスSASEBO」での記念式典に全議員で参加しました。

昭和30年頃より、高原野菜など農産物の市場出荷を通じ、縁あって平成3年7月姉妹都市の締結をした。早や12年目を迎えようとしている。農産物だけでなく文化・福祉・教育・観光や各種イベントなどを通して、幅広く交流が進んでいる。今後も、農業と観光の町、本町との深いつながりが長く続いていくことを願っています。



アルカスSASEBO前で

わたしの
ひとこと

スローフードと

湯坪おかみさんの会

矢野正美さん



今おかみの会はもえています。素材の一品一品を農家の生産者にお願ひして作っていたとき、安心な素材をもとめる事に。そのためには私達消費者も足をはこび生産者の苦勞を見なければいい素材は得られないと思います。今県でも「地産地消」と叫ばれています。まさに、今の時代にピッタ

議員リレー

随想 27

待たれる
景気回復

梅木時彦

13年度を振り返って見る時に、特に大きな事件として、狂牛病問題を初め、多くの業者が、牛肉、鶏肉の偽装に発展し、国民が失望とショックを受け低迷している景気、食の安全は絶対欠かす事の出来ないものと思う。今なお増え続ける偽装に対し政府は強い姿勢で望んでほしい。

さて毎日の新聞、テレビで景気は悪化、失業、リストラ等、不安増す、現状で

りだと思ひます。今までの目の視点を少し変える事ですごい発見をしています。地域一人、物、場所。にもたくさんステキな事があります。今の時代だからこそ生産者と消費者(商工者)がよりよいコミュニケーションをとり(異業種)おたがい本音で話し会えるといい知恵も出るのではないのでしょうか。そして地域おこしにつながる様に思ひます。「ほんまもん」を求めて時間がかかるかもしれないけどくじけず、御客様に安心して来ていただき、安心し

て食事をしていただける様がんばります。情報をお待ちしています。

情報(コミュニケーション)を入れ時の波にのりこつこつ努力する、今のおかみの合言葉は「めざす事」です。



家庭菜園の高菜

この解決も先送りの状況で与野党間の争いのみが、おもしろ、おかしく見られている。この様な状況では景気回復、構造改革は悪かすべてが先送りになっている様に思われる。

今回の不祥事に対する倫理の確立をなすべきではないか、国民は此の度の事件を一日も早く明らかにし、早い解決を望むものです。



最近テレビ番組でアメリカから見た破滅するおそれのある国として3本の指の中に日本が入っていると報じていて愕然とした。確かに不安を覚えることは山ほどある。経済はバブルの崩壊後再生への道筋は見出せていないし「政治家」「官僚」「企業」に対する不信、牛海綿状脳症(BSE)肉用牛に代表される食品の産地の偽装表示や、賞味期限の書き替えによる食への不安など何れの失墜は甚だしい。いったい誰がこんな日本にしたかと言いたくもなるが、こんな時だからこそ政治家や官僚や企業のトップは勿論のこと、私たちひとり一人が襟を正し先ずは良心を取り戻すことが、日本再生への道に繋がるのでは。

(竹尾允文)

